

夏季語学研修レポート

経済学部 1 年 遠藤彰吾

私は、今回 9 月 2 日から 9 月 25 日までアメリカでの語学研修に参加しました。サンディエゴ州立大学中の語学学校



(ALI)に通いました。ALIには、多くの国から英語を学ぶために留学生が来ていました。授業は全て英語なので、一瞬ぼーっとするとすぐに何をしているか分からなくなります。しかし、授業中に外国の人たちと意見を言い合ったり、簡単な討論をしたりすることはとてもおもしろかったです。私は英語が苦手なので、少しでも外国人と分かり合えると、その度によろこんでいました。

ALI の授業は、午前中のみで午後は毎日サンディエゴの町を散策しました。サンディエゴのダウンタウンはとても雰囲気の良い街でした。公園、ビーチ、ショッピングモール、大通り、海沿いの散歩道などとても見所が多かったです。公園はきれいでリスやウサギ、ハチドリなどもいました。他にも、放課後にアメリカでできた友達と、図書館で宿題をしたりジムに行ったり夕食を食べに行ったりしました。



私のホストファミリーはおじさんひとりだけでした。しかし、ホストハウスには、サウジアラビア、イタリア、タイ、フィリピン、

中国、日本などからきた留学生がいて下宿のようでした。食事のときもお互いに今日何をしたかなどを話しました。自分とはぎれとぎれにしか話せず、うまく伝えられないときも多かったのですがみんなしっかり聞いてくれてとてもいい人たちでした。他にも、ビーチに行ったりメキシコに行ったりしました。

この 3 週間で、私が学んだことはアメリカで生活するだけなら英語は下手でも構わないが、外国の人々とより楽しく過ごすには英語が必要だということです。店での買い物などだけなら金さえあれば買えますし必要な情報も 2〜3言で足りる。しかし、友達との雑談などは英語力があればあるほどおもしろいだろうということが分かりました。



夏季語学研修に参加して

経済学部 1 年 大海瑠那

私は今回の夏季語学研修に参加して本当に良かったと思います。今まで憧れていたアメリカ、しかも初めて日本から



一歩踏み出して海外に行くということで何もわからず不安でいっぱいでした。旅行前の手続きの書類も英語ばかりで、あたふたしたことも多かったと思います。アメリカについてからの生活も波乱でいっぱいでした。まずサンフランシスコで手続きに戸惑い、飛行機が一本遅れてしまったため、サンディエゴについたときにホームステイ先の人の弟さんが来ているはずなのに会えず、しかも到着した日にホームステイ先の女性が旅行に行っていて家に一人ぼっちなんてことは予想していなかったのですごく驚きました。結局現地の友達に連絡をとってその人の家に泊めてもらったので一人ぼっちにならずにすみましたが、到着して 2 日もホストファミリーの方がいないってことはなかなか経験できることではないのでそれも良い経験であったかなと思っています。そのほかに問題といえば食べ物でした。最初の一週間は食べ物が食べられなくてびっくりしました。いかに食べることが好きな私でも、アメリカの食事の味の濃さと量には圧倒されました。あとアメリカではご飯がなかなか食べられなかったのですごくお米が恋しくなったことをよく覚えています。大変な部分も多かったで

すが、そういったことを含めてとてもアメリカでの生活を楽しむことが出来ましたし、いい経験が出来たと思っています。私がアメリカで学んだ大切なことは、英語を話すことを恐れないことです。いかに英語が出来なくてもこちらが



コミュニケーションを取ろうとする姿勢を見せれば、一生懸命に聞いてくれようとしてくれました。英語ができない、できないと言わずに、

失敗を恐れず挑戦していこうと思えるようになりました。それからアメリカでであった人たちは自分の意見をしっかり持ってそれを表現することがすごく上手でした。私も普段から自分の意見を持ち、表現していくことをしていこうと思います。

人がいました。授業は、英語でのコミュニケーション力の向上を目標としているため、他国の人とペアワークを行うことも多く、他国の友達もたくさんできました。そのため、休み時間も常に英語で話していたため、学校に行くだけで英語の力をつけることができたように感じます。

放課後や休日はトロリーに乗り、様々な場所の観光もしました。サンディエゴ市内の観光はもちろん、ツアーでロスゼルス観光もしました。サンディエゴは 3 週間かけて、毎日違う場所を回っても、回りつくせないくらいに魅力たっぷりの場所でした。

ホームステイでは、アメリカ人のホストマザーと中国人のルームメイトと一緒に生活をしました。それぞれ、国や文化は違いますが、英語で様々なことを話しました。ホストマザーは忙しい中、毎日おいしい夕食を作ってくれ、私が疑問に思ったことを質問すると、分かりやすい英語で答えてくれました。また、必要なときは車で送迎もしてくれ、とてもありがたい存在でした。中国人のルームメイトとは、一緒に登下校をしたり英語で恋バナをしたりと姉妹のように仲良く過ごしました。

たった 3 週間という短い時間でしたが、英語の力を上げるとともに、とてもよい経験をすることができました。これからも英語の



勉強を頑張っていこうと思いました。そして、アメリカに留学させてくれた両親と、ホームステイを受け入れてくれたホストファミリーにとっても感謝しています。

夏季語学研修体験記

経済学部 1 年 外池夏子

私は、9 月 3 日から 3 週間、アメリカのサンディエゴ州立大学に短期語学留学に行つて来ました。その中でも、American Language Institute という、英語研修課程で英語の勉強をしました。朝 8 時から午後 1 時まで Oral Communication、Grammar・Writing、Reading・Listening の 3 コマの授業を受けました。授業はすべて英語で行われ、最初は聞き取ることだけで精一杯でしたが、だんだんと英語での授業にも慣れていき授業中に英語で発言することもできるようになりました。

クラスには日本以外にも中国や韓国、タイ、サウジアラビア、ドイツなど様々な国の



短期留学を経て

経済学部 2 年 寺田有希

この夏、大分大学と提携を結んでいるアメリカのサンディエゴ州立大学に短期留学をした。私にとって初めての海外だったので、行く前日まで緊張と不安でいっぱいだった。アメリカは、思った以上に広くて自由な国だった。出会う人たちは、みんな気さくに声をかけてくれて、ホストファミリーの人たちは、私を家族の一員のように接してくれた。家族の仲が良すぎてホームシックになることもしばしば。食事は意外にもすぐに慣れ、逆に、ユニットバスの使い方と洗濯が週に一度しかない習慣は最後まで理解できなかった。



アメリカでの一番の壁は、なんといっても言語障害だった。英語が理解できないと、日常会話から携帯電話の契約、ファミリーとの通話、授業中にある他国の留学生とのディスカッション、どれも言いたいことを伝えきれず、会話が長続きしなかった。自分の英語の限界を知り、話すことを諦めて黙ってしまうこともあった。そこで今まで自分がどれだけ日本語に守られていたのかを実感した。3週間も経つと、簡単な英会話はできるようになった。ポイントは、ぐちゃぐちゃな英語でも一生懸命伝えようとするのだと感じた。

楽しかったことは、放課後や土日を使ってサンディエゴを観光したことだ。「地球の歩き方」に載っている色々なスポットをたくさん巡った。日中の日差しの強さ、雨が降らない気候、アメリカらしい大胆な発想、アメリカ人の懐の大きさ、テレビでしか見たことがなかった景色、いろんな国から来た人々、大きなサイズの食べ物、移動手段はスケートボード、どこにでもあるゴミ箱、真っ直ぐ続く高速道路、どれも刺激的で毎日とても充実していた。

今回の留学は、語学研修が目的であったけど、語学以外にも学ぶことはたくさんあった。他民族国家であることからたくさんの国の文化を一気に知ることができた。そしてそこから、日本文化の良さに気づくきっかけにもなった。残りの大学生活でこの経験を色んなところで活かしていこうと思う。



夏季語学研修体験記

経済学部 2 年 浦 菜摘

今回、夏季休暇を利用してアメリカのサンディエゴ州立大学に語学研修に行ってきました。これが私にとって初めての海外でした。そのため、日本と違って海外は楽しいイメージしかなく最初はわくわくしていましたが、出発が近づくにつれて言葉の壁や文化の違いなどの点から不安でいっぱいでした。アメリカに到着し空港にホストマザーが迎えに来てくれましたが、緊張もあり最初は何をどう話せばいいか分からないし、マザーが何を言っているのかも理解が出来ませんでした。なので、会話があまりなく黙っていました。けれど、せっかくの機会だったので自分の家族や地元のこと、そしてアメリカについて聞いてみようと思い、自分から積極的に話しかけてみました。なかなか自分が思っていることが伝わらず、時には、「I can't understand.」と言われることもありましたが、それでもファミリーは私の言っていることを理解してくれようとしていたし、私に分かるように易しい英語で答えてくれました。



学校では、クラスメイトに日本人もたくさんいましたが、台湾やサウジアラビア、ドイツなど様々な国の人もいました。授業はもちろんすべて英語で行っていますが、クラスメイトはみんな私よりも総合的に英語の能力が長けていてびっくりしました。ある時、サウジアラビア人と会話をしていた boy が伝わらなく、発音は大切と分かっていたけど、その重要性を初めて痛感しました。違う国の人と話すことによって、その国の文化も少し分かったし、自分では思いもつかないような考えの人がたくさんいて世界にはいろいろな人がいるんだなあと感じました。

今回の語学研修を通して、自分の思っていることが少しは言えるようになったと思いますし、アメリカはもちろんそれ以外の国の習慣や文化を学ぶことが出来ました。また何よりの、何事にも怖がって自分の殻に閉じこまらずに、勇気を持って色んなことに挑戦することの大切さを感じました。そうすることで、今までの自分より少しでも成長した自分が発見できると思いました。



※ 記載の学年はすべて参加当時(2012 年度)のものです。